



(第1面)

産業廃棄物処理計画書

(公印省略)

白上下水第 0620002 号
令和 7年 6月 20日

大分県知事 佐藤 樹一郎 殿

提出者

住 所 白杵市大字白杵72番1
氏 名 白杵市長 西岡 隆
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0972-63-1111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	野津浄化センター
事業場の所在地	白杵市野津町大字宮原
計画期間	令和7年度
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	下水道終末処理場
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	終沈汚泥 ⇒ 移動脱水車 ⇒ 堆肥再生利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

臼杵市長 (廃棄物処理総括責任者)
 ↓
 上下水道課 (産業廃棄物管理担当)
 ↓
 現場管理責任者 (委託管理会社)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和6年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥 (下水汚泥)	
	排 出 量	895 t	t
	(これまでに実施した取組) ・濃縮槽により、減量化を図っている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥 (下水汚泥)	
	排 出 量	890 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も、濃縮槽により減量化を図る。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	800 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	800 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も脱水機により減量化を図る。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）
	全処理委託量	95 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	95 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組) ・堆肥として再利用を行っている。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（下水汚泥）	
	全処理委託量	90 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	90 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も堆肥として再利用を図る。		
※事務処理欄			